

2019

9/26

ラグビーワールドカップ2019(博多の森球技場)



感動と興奮をもたらしたラグビーワールドカップ2019日本大会が全国12都市で開催されました。日本代表は史上初のベスト8入りを果たす活躍でスローガンでもある「ONE TEAM」は2019年流行語大賞に選ばれました。

2019

10/8

政令指定都市木材利用促進議員連盟意見交換会(衆議院第2議員会館)



間伐や担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発のための森林環境譲与税について議論しました。

て、子ども達にしわ寄せが来ての午前中5時間授業になっていないか、教員のための午前中5時間授業と言われるでも仕方ないのではと思うがどうでしょうか。

A 〈教育長〉児童が学校生活を送るうえで基盤となる時間割は、児童のことを第一に考えて編成すべきであると認識しています。

午前中5時間授業については、児童にとって無理はないか、生活習慣の確立につながるか、学力の向上につながるか、という面から十分に検証し、実施していく必要があると考えています。

Q 〈平畑〉ある保護者からは、4月から午前中5時間授業になりますとプリント1枚だったと聞きました。帰宅時間は20分程度しか変わらないので大きな反対もなかった。ただ、何が目的かよくわからないとのことでした。導入にあたり、保護者や地域にどのように説明を行ったのですか。

A 〈教育長〉午前中5時間授業を導入するにあたって、学校では、前年度までに保護者、地域に対して、導入する目的として「放課後の時間を活用した個別指導の充実を図ること」や「自由時間を拡大して遊びや友達関係の広がりにつなげていくこと」などを説明したと報告を受けています。

説明方法については、保護者に対しては、全保護者を対象とした説明会やPTA研修会、PTA総会などで、地域に対しては、地域住民を対象とした地域懇談会、自治協議会の定例会や公民館の運営懇話会など様々な機会に、校長が中心となって理解が得られるよう説明したと報告を受けています。

Q 〈平畑〉説明方法はバラバラとの答弁でした。全保護者対象の説明会は全校実施したのかと思います。また、PTA研修会、PTA総会とは本来趣旨が全く違うところでの説明会であり一体どんな把握をしているので

しょう。教育委員会会議での意見はどうだったのか？議題となった回数並びに年度ごとの意見をお尋ねします。

A 〈教育長〉教育委員会会議では、これまでも教育課程について意見交換をしており、午前中5時間授業についても教育委員のあいだで様々な機会を捉え意見交換を行ってきましたが、協議報告事項として取り上げたのは、令和元年6月10日が初めてです。

その際、教育委員から、

- 午前中5時間授業が子どものためではなく、教員の働き方改革や会議時間の確保にあるのであれば、それは違うのではないかと。
- 子どもの目線で考えていただきたい。
- 適切な時間割編成を検討するため、検討委員会を設置すると聞いているが、他都市の事例や各学校でのいろいろな工夫も取り上げて、モデル事例を作成してほしい。

などの意見が出されました。

Q 〈平畑〉様々な機会を捉えて意見交換を行ってきたとのことですが過去19年間教育委員会会議での議事録もない、けど意見交換はしたとの答弁です。正式に取り上げたのが令和元年6月、教育委員さんから職員会議の時間なら違う、子どもの目線で考えるべきという当然の意見がでています。ほぼ野放し状態で拡大していると言わざるを得ないと思います。第二次福岡市教育振興基本計画への位置づけはありますか？

A 〈教育長〉令和元年6月に策定した第2次福岡市教育振興基本計画の中で、午前中5時間授業について、直接触れてはいませんが、これからの福岡市の教育がめざす姿「あるべき学校像」において「学校の自主性を生かし、それぞれの学校事情を踏まえて、校長が策定した運営方針のもと、組織的に教育活動を行うこと」とし、新学習指導要領の趣旨を踏まえ、児童に必要な資質・能力をはぐ